

全国保健師長会 新潟市支部 通信

平成30年1月発行

平成29年度全国保健師長会新潟市支部研修会の報告

平成29年12月16日(土)新潟市保健所講堂にて開催しました。

テーマ:「健診受診率向上のための取り組みについて

～受けない人の、受けない本当の理由～

講師:株式会社 キャンサースキャン 代表取締役 福吉 潤 氏

年末の忙しい雨模様の日、75名(新潟市以外からも3名)と多くの参加があり、「健康寿命の延伸」「受診率向上」への取り組みについて、学びとともに多くの意見交換がされました。講師の福吉先生からは、実例を交えながら、会場のグループに問いかける形式で進行していただき、日頃の業務のヒントをたくさんいただきました。驚くほどあっという間の2時間でした。



◆ 講話のポイント ◆

*健康寿命の延伸が言われる中で「なぜ健診を受けないのか？」

健診を受けない本当の理由 1位 「たまたま受けていない」(内閣府調査) 約29%

= 受けたくないわけではない人 あと一押しで受診するかも

「受けたくない人」に受けさせるより受診率アップになる!

*どうやって受診を促す?

- ・メッセージで受診率向上 = 情報量ではなく関心のある内容を
- ・「メッセージをシャープにする」…14文字ルール
- ・「その人のニーズに合わせたメッセージを」
…無関心な人、発見が怖い人、受けようと思っている人に同じメッセージはダメ
- ・「効果的なターゲットを探す方法」…国保のビッグデータの活用で
不定期検診受診者のセグメント(心理特性)にあわせたメッセージを



多忙な業務の中で、効率よく・効果的に、自身のモチベーションを維持できるように「楽しく」できることも必要だと感じます。この研修から得た「エネルギー」を仕事に活かしましょう!

◆ 当日アンケートより ◆

- ・受けていない人の本当の理由が、「たまたま受けていない」という理由が一番多かったということが印象的だった。
- ・シンプルなメッセージでわかりやすい案内の工夫。人が行動するには、何を求めているかを考えて伝えていく。
- ・対象をしぼる、どこをターゲットにするか
・・・やはりここを考えることが必要なんだと再認識。
- ・健診受診率向上に限らず、保健師業務において効率性を求め、業務の無駄を省いていくことが必要であると感じました。

こんな感想も

- ・ゴリラがみえなかったこと。あんなに大きく、長く、いたのに……。人ってその時の意識で見えるものが違うんですね(@_@;)